

大阪府柏原市における基本計画の概要

計画のポイント

柏原市では、産業構造のうち主要な割合を占める製造業において、高精度な金型技術など優れた技術を持った企業の成長や他の関連産業・企業の成長を通じて高い経済的波及効果をもたらし、地域経済の好循環の実現をめざす。また、農業者の約8割が栽培している「ぶどう」、さらに「ワイン」を核として、ワイナリー・農業者・飲食店・観光名所をつなぎ合わせることで、市全体の魅力の向上を目指すとともに、ワイナリー新規開設希望者や飲食店など多様な担い手によるワイン醸造用のぶどう栽培などにより、ぶどう産地の活性化を図る。

促進区域

大阪府柏原市

経済的効果の目標

1件あたり平均68.89百万円の付加価値額を創出する地域経済事業を2件創出し、これらの地域経済牽引事業が促進区域で1.25倍（製造業の波及係数）の波及効果を与え、促進区域で172百万円の付加価値創出を目指す。

地域経済牽引事業の承認要件

【要件1：地域の特性を活用すること（①、②のいずれか）】

- ① 柏原市の業務用機械器具製造業や生産用機械製造業等の技術を活用した成長ものづくり分野
- ② 柏原市のぶどう、ワイン等の特産物を活用した農林水産分野

【要件2：高い付加価値を創出すること】

- ・付加価値増加分：68.89百万円超

【要件3：いずれかの経済的効果が見込まれること】

- 売上額：7%以上増加
- 雇用者数：1%以上増加

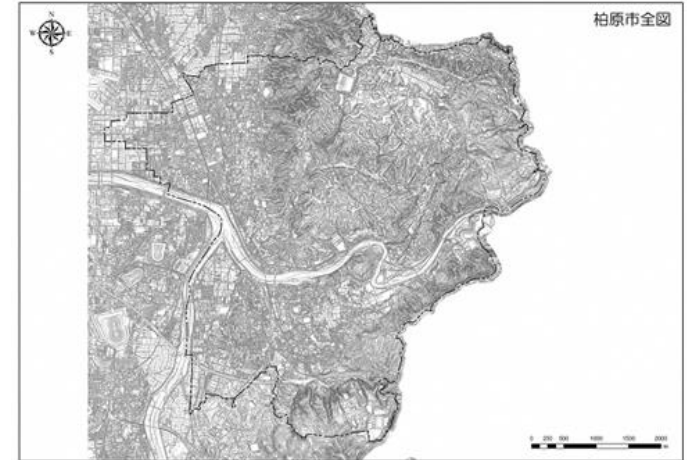
制度・事業環境の整備

地元企業等の育成、事業承継支援、知的財産活用支援、地域就労の推進、農業後継者を育成する制度の整備、環境農林水産総合研究所所有のデータのオープンデータ化、相談窓口の設置など

地域経済牽引支援機関

柏原市商工会、日本政策金融公庫、大阪府立環境農林水産総合研究所、JA大阪中河内、大阪ワイナリー協会、関西ワイナリー協会、大阪教育大学、関西福祉科学大学（学校法人玉手山学園）

《促進区域図》



柏原ぶどう



企業団地



ワイン醸造の様子

計画期間

計画同意の日（令和6年4月1日）から令和10年度末日まで